

## 令和7年度 第3学期終業式式辞

本日は第3学期の終業式であるとともに、年次の修了式でもあります。まずは、皆さんが健康で無事に1年間を過ごすことができたことに、感謝とお礼を言いたいと思います。

皆さんにとって、この1年間を振り返って、これからなりたい、理想とする自分の姿に近づけましたか。4月の始業式で皆さんに2つのお願いをしました。

一つは、何事にも精一杯取り組む向上心と目標を持ち、行動をおこし、チャレンジしていく。一番やってはいけないことは、『どうせやっても同じ』『やるだけ無駄』という自ら限界をつくり、諦めてしまうこと。二つに「みんなで作る。明石南高校」を掲げて、みんなで明石南高校に通いたい・卒業したい学校にしていけるよう、皆さんの心を高めていく。とお願いしました。達成できたでしょうか。

学校生活全般においては、学習活動、学校行事や部活動など、皆さんはよく頑張ってくれたと思っています。この1年間、私もいろいろなところで、いろいろな方からお褒めのお言葉をいただくようになりました。皆さんの頑張りが評価されることは本当にうれしく、誇らしく感じます。一方で、自転車マナーやコンビニの利用等で地域からお叱りの言葉をいただいたこともありました。プラスマイナスゼロ、そんなに上手く人生帳尻をあわせられることばかりではありません。そんな大げさなと思っていることの方が根強く残り、なかなか払拭できないことが多いのです。人が感じる度合い、感じ方は人によって違うのですから、当然のことかもしれません。これからも他人からみた自分を意識して行動していきましょう。

さて、話は変わりますが、「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるならば、それは努力とは呼べない。」という名言を皆さん聞いたことがあるでしょう。これは通算本塁打868本の世界記録を持つ巨人で活躍された元プロ野球選手の王貞治さんの名言です。この名言には続きがあり、『努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。』この後の言葉は『努力しても報われなかった、それは努力をしていなかったからではなく、努力とは呼べない域だった』というものです。練習の激しさが伝わるエピソードとして、「練習の際に使用した部屋の畳がボロボロになり、自身の足から大量の血しぶきがあつた」また、「バットを振りすぎて、洗顔するとき腕が動かなかった」など、ここまで自分を追い込む精神力、行動力、まさに自分の持てる能力、最大限に引き出そうとする自己への挑戦、自分との勝負、ここまでやらないと努力と呼べる領域まで達しないということでしょう。そして、この領域に達して、はじめて努力は報われるということにもなります。皆さんも諦めずに夢実現のために、新しい年次にむけて心と体の準備、いやスタートを切ってほしいものです。

特に、この春休み中の4月1日から道路交通法改正により16歳以上の自転車運転の交通ルール違反に対し、交通反則通告制度（青切符）が導入されます。今一度、警察庁のHP等で確認して、ルールを遵守するように、お願いしておきます。

今日という1年の節目の日を絶好の機会に捉え、皆さんが充実した春休みを過ごし、4月には元気な姿で新しい年次を迎えることを願ひまして、3学期終業式の式辞とします。

令和8年3月23日

学校長